

田中和樹さん（自然科学研究科 博士後期課程 2年）が UGAP 2022 において Best Poster Award を受賞しました

2022年6月13日から6月15日にかけて、東京理科大学野田キャンパスで行われた国際ワークショップ「UGAP2022 - Unraveling the History of the Universe and Matter Evolution with Underground Physics」において、大学院自然科学研究科博士後期課程2年の田中和樹さんが Best Poster Award を受賞しました。

本賞は、UGAP 2022 において行われたポスター発表のうち、優れた発表を行った学生発表者に授与される賞です。田中さんは受賞者3人のうちの1人に選ばれました。

研究では、素粒子ニュートリノの質量起源を説明するシーソー機構において導入される右巻きニュートリノが、非標準的な素粒子反応であるニュートリノを伴わない二重ベータ崩壊に及ぼす影響を調査し、崩壊が起こらなくなる新たな相殺可能性を発見しました。

Best Poster Award 田中和樹

受賞発表 「Neutrinoless double beta decay in the seesaw mechanism」

研究会ホームページ <https://www.lowbg.org/ugap/ws/am2022/index.html?LangP=JP>

